

Miyashiro Town
Digital Transformation
Explain Plan

宮代町DX推進計画

-デジタルでみんなの暮らしを豊かに-

2024.1
宮代町



目次

第1章 はじめに

1 DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは？	2
2 なぜDXを進めていくの？	2
3 町民の皆さんの声をおききしました	6

第2章 DX推進に向けて

1 計画の位置づけ	10
2 計画策定期間	10
3 計画の推進体制	11

第3章 DX基本方針

宮代町が目指す姿（ビジョン）	12
1 自治体の情報システムの標準化・共通化	13
2 マイナンバーカードの普及促進	14
3 自治体の行政手続きのオンライン化	15
4 自治体のデジタル技術（AI・RPA等）の利用促進	16
5 テレワークの推進	17
6 セキュリティ対策の徹底	18
7 地域社会のデジタル化	19
8 スマートなワークスタイルの実現	20

資料

用語集	21
町民アンケート集計結果	24

第1章 はじめに

1 DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは？

皆さんは、DX（デジタル・トランスフォーメーション）という言葉を知っていますか？

自治体が進めるDXとは

デジタル技術を活用し、人々の生活をあらゆる面で
より良い方向に変化させること
です



2 なぜDXを進めていくの？

現在の自治体を取り巻く様々な環境の変化を背景として、自治体におけるDXの推進が強く求められています。



● 国の動向

令和元年に成立したいわゆる「デジタル手続法」により、行政手続きは原則オンライン申請へ移行することが示され、令和2年12月には、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を掲げた「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が決定されました。併せて「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」が策定され、デジタル社会の構築に向けた取り組みを国、地方が一体となって着実に進めていくことが定められました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、住民の暮らしに大きな変化をもたらした。自治体においては地域や組織間でデータを横断的に活用できない等デジタル化の遅れが明らかになりました。

こうした背景から、国は令和3年9月にデジタル社会形成の司令塔として「デジタル庁」を設置する等、DXを急加速させています。

● 県の動向

埼玉県は、令和3年3月に「埼玉県デジタルトランスフォーメーション推進計画」を策定し、「社会全体のDXの実現による快適で豊かな真に暮らしやすい新しい埼玉県の変革」を目標に掲げて取り組みを進めています。

全国トップクラスのスピードで高齢化が進行すると見込まれている中で、デジタル化は喫緊の課題であり、行政のデジタル化を計画的かつ着実に推進するとともに、社会基盤としてデジタルを浸透させることで、便利で快適な生活基盤を確保し、これまでなかった新たなサービスが創出される「埼玉県のデジタルトランスフォーメーション」の実現に向けて取り組みを進めることとしています。

● SDGsとの関連性

SDGs（持続可能な開発目標）は、平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、令和12年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。

「社会的課題を解決し、誰もが暮らしやすい社会を目指す」という点で、DXとSDGsとは関連性が高いです。デジタル技術を活用して、身近な課題をDXで解決することによってSDGsの実践につながるよう取り組みを推進していきます。



● 宮代町の現状と課題

少子高齢化・人口減少が進む中、宮代町の人口は、道仏地区土地区画整理事業の実施等により増加傾向にありましたが、今後は例外なく減少していくことが予想されています。また、高齢化率は令和5年10月末現在ですでに32.5%であり、今後も上昇傾向にあります。人口構造の変化がもたらす影響は労働力の減少や財政負担の増加等多岐にわたり、今後更なる厳しい行財政運営となることが推測されます。こうした状況の中で、様々な社会課題を解決する鍵がDXと言われています。

町では、これまでグループウェアや地図情報システムの導入、ホームページ、SNSによる情報発信等、積極的にIT化を進めてきたところですが、コロナ禍においてウェブ会議やデジタル技術を活用した住民サービス、リモートワーク等の多様な働き方には十分な対応ができていないこと等、デジタル化の課題が顕在化しました。

自治体DXの目的は、住民生活の利便性を高めて暮らしをより豊かにすることです。そのためには、デジタルを活用して多方面にわたり住民サービスを向上させることと合わせて、行政内部においてもデジタル化を進め、より効率的な行政運営を行う必要があります。全国的な担い手不足は今後の職員不足にも直結します。限られた人員で行政運営を担う、その鍵として自治体DXは急務となっています。

★ワークショップの開催について

DX推進計画の策定にあたり、新たな視点でのDX推進のアイデアを発見、共有し、DX推進計画に反映させることを目的として、DX推進リーダーとのワークショップを開催しました。

開催日：令和5年10月27日（金）

参加人数：18名

テーマ：「DXの業務活用」

「デジタルデバイド対策」



テーマ① 「DXの業務活用」

一つ目のテーマ、DXによる効率化・サービス向上を自分の部署でどのように活用できるかを中心とした「DXの業務活用」については、主に次のような意見が上がりました。

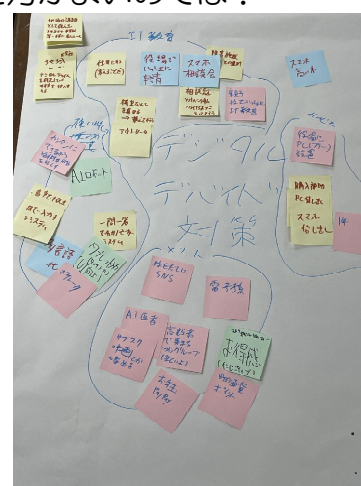
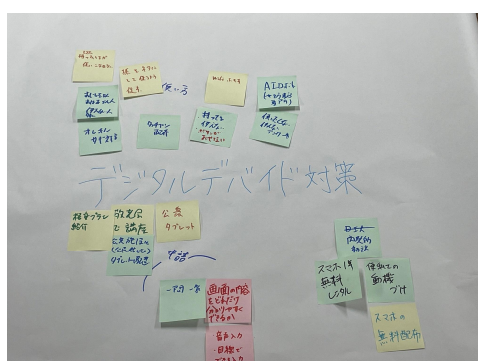
- ・ペーパーレス化で業務を効率化したい
- ・電子申請の拡大、キャッシュレスの導入で職員も住民も便利に！
- ・書かない窓口導入による来庁者の負担軽減



テーマ② 「デジタルデバイド対策」

二つ目のテーマ、誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向け、情報格差を埋めるためには、どのような「デジタルデバイド対策」が必要かについては、次のような意見が上がりました。

- ・経済面のデジタルデバイド対策も検討が必要ではないか
- ・デジタル技術に触れる機会を増やす方法を考えた方がよいのでは？
- ・地域資源を活用した相談会を開催しては？



自治体職員として実際に業務に携わる視点と、住民としての視点、参加者自身の体験談を基に、それぞれの部署で抱えている問題がDXでどう解決することができるか等、前向きな意見が数多く話し合われました。

3 町民の皆さんの声をおききました

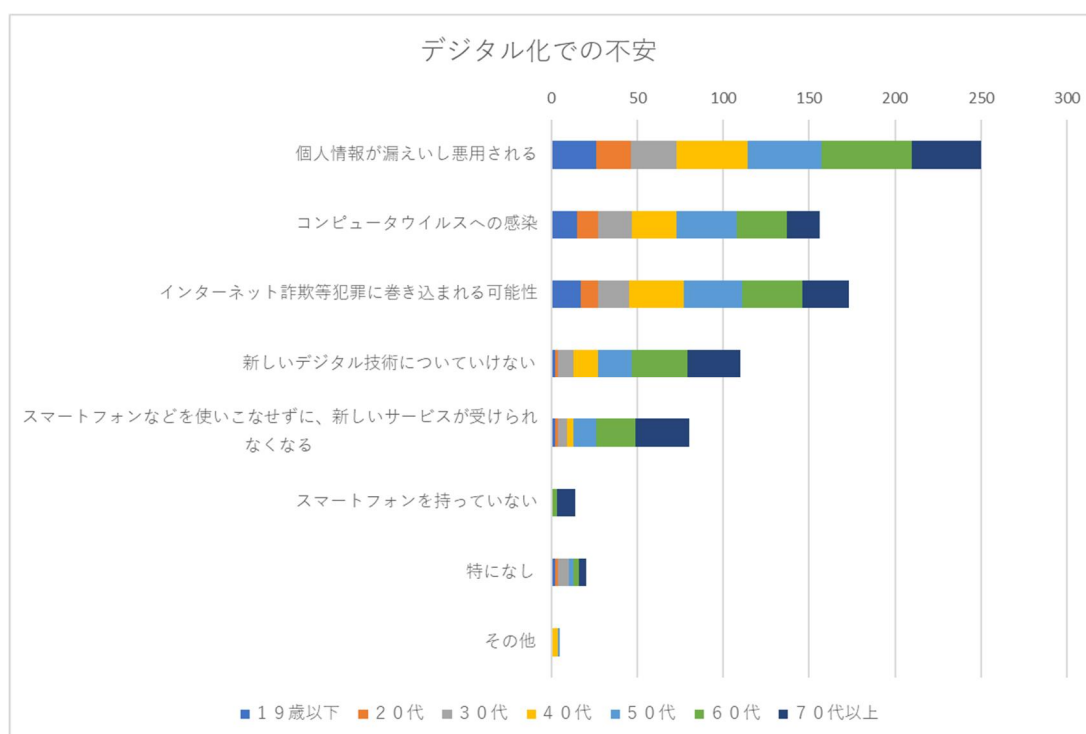
宮代町においても、今後住民サービス等がデジタル化していく中で、町民の皆さんのご意見等をお伺いするため、アンケート調査を実施しました。

実施期間：令和5年6月26日から令和5年7月9日まで
 対象者：町内に在住する満15歳以上の方（1,000人・無作為抽出）
 回答方法：郵送またはインターネット
 回答者数：331人（回答率33.1%）

★アンケート集計結果（一部抜粋。全体版はP24以降に掲載）

● 社会のデジタル化が進む中で不安に思うことはありますか（複数回答可）。

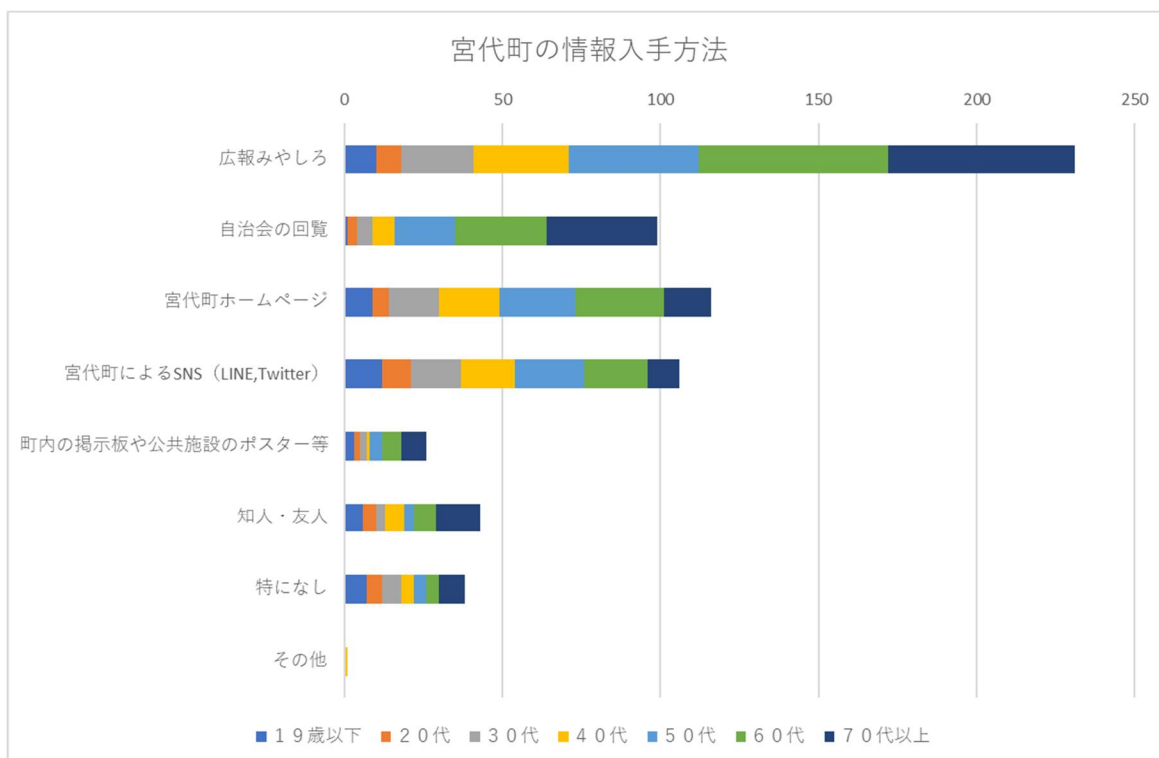
年代	個人情報が漏えいし悪用される	コンピュータウイルスへの感染	インターネット詐欺等犯罪に巻き込まれる可能性	新しいデジタル技術についていけない	スマートフォンなどを使いこなせずに、新しいサービスが受けられなくなる	スマートフォンを持っていない	特になし	その他	合計
19歳以下	26	15	17	2	2	0	2	0	64
20代	20	12	10	2	2	0	2	0	48
30代	27	20	18	9	5	0	6	0	85
40代	41	26	32	14	4	0	0	4	121
50代	43	35	34	20	13	0	3	1	149
60代	53	29	35	32	23	3	3	0	178
70代以上	40	19	27	31	31	11	4	0	163
合計	250	156	173	110	80	14	20	5	808



デジタル化に対する不安としては、全世代で個人情報の漏えいが最も多く、続いてインターネット詐欺、コンピュータウイルスへの感染が心配されています。

● 宮代町の行政情報の入手方法を教えてください（複数回答可）。

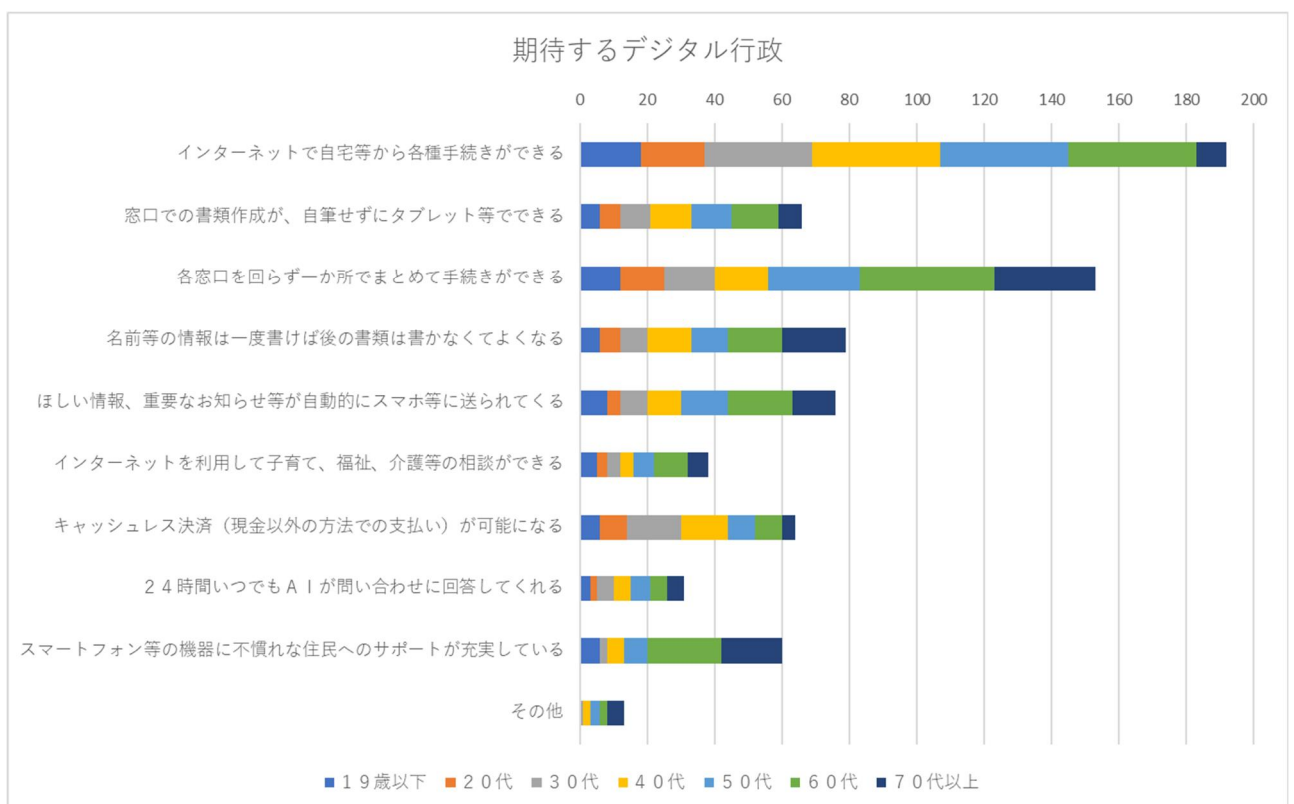
年代	広報みやしろ	自治会の回覧	宮代町ホームページ	宮代町によるSNS (LINE, Twitter)	町内の掲示板や公共施設のポスター等	知人・友人	特になし	その他	合計
19歳以下	10	1	9	12	3	6	7	0	48
20代	8	3	5	9	2	4	5	0	36
30代	23	5	16	16	2	3	6	0	71
40代	30	7	19	17	1	6	4	1	85
50代	41	19	24	22	4	3	4	0	117
60代	60	29	28	20	6	7	4	0	154
70代以上	59	35	15	10	8	14	8	0	149
合計	231	99	116	106	26	43	38	1	660



宮代町の行政情報の入手方法としては、最も多い回答は広報みやしろとなっており、続いて、宮代町ホームページ、宮代町によるSNS（LINE、Twitter（現「X」））、自治会の回覧の順に多い結果となりました。年代別に見ると、60代以上の方々には広報みやしろから情報を入手している方が多いのに対し、20代以下の方々には宮代町によるSNSから情報を得ている方が多く、情報収集の方法が年代によって異なることがわかります。

● 今後期待する、デジタル技術を活用した宮代町の行政サービスを教えてください（3つまで）。

年代	インターネットで自宅等から各種手続きができる	窓口での書類作成が、自筆せずにタブレット等のできる	各窓口を回らず一か所でまとめて手続きができる	名前等の情報は一度書けば後の書類は書かなくてよくなる	ほしい情報、重要なお知らせ等が自動的にスマホ等に送られてくる	インターネットを利用して子育て、福祉、介護等の相談ができる	キャッシュレス決済（現金以外の方法での支払い）が可能になる	24時間いつでもAIが問い合わせに回答してくれる	スマートフォン等の機器に不慣れな住民へのサポートが充実している	その他	合計
19歳以下	18	6	12	6	8	5	6	3	6	0	70
20代	19	6	13	6	4	3	8	2	0	0	61
30代	32	9	15	8	8	4	16	5	2	1	100
40代	38	12	16	13	10	4	14	5	5	2	119
50代	38	12	27	11	14	6	8	6	7	3	132
60代	38	14	40	16	19	10	8	5	22	2	174
70代以上	9	7	30	19	13	6	4	5	18	5	116
合計	192	66	153	79	76	38	64	31	60	13	772



期待される行政サービスとしては、インターネットを活用した申請が最も多く、続いて各窓口を回らず一か所で手続きができるという回答が多くみられました。

また、スマートフォンやタブレットを活用した申請方法や情報収集、キャッシュレス決済を望む声も多く、デジタル機器やインターネットが生活の中に普及しているものと考えられます。

一方、60代以上の方からは、デジタル機器に不慣れな住民へのサポートに期待する回答が多くありました。

● 宮代町のデジタル化に対する自由記入欄（回答より抜粋）

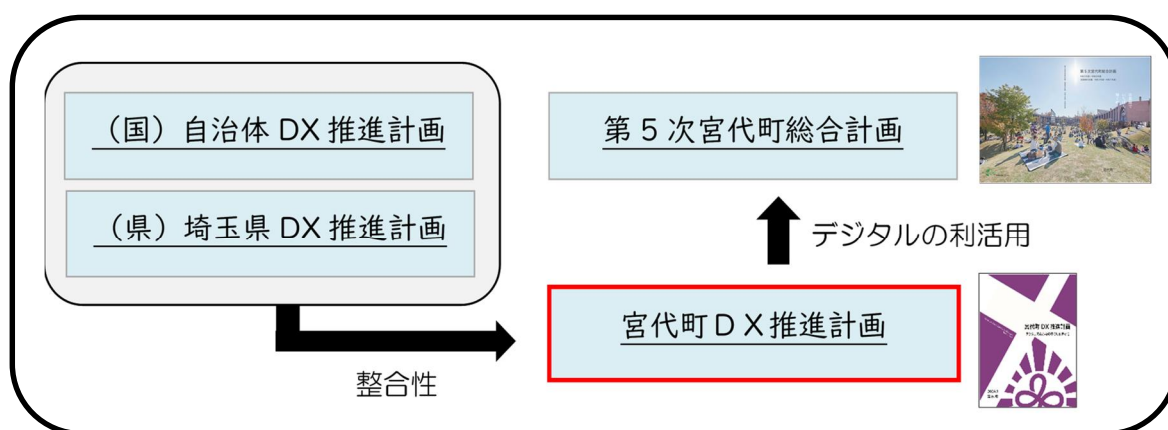
- 住民が今後も安心して暮らせる様に、万全の準備を行ってから実施してください。
- デジタル化には賛成ですが、導入については町民の年齢層が高くなると思いますので、住民が一番何が必要かを確認し導入順を決めていくことを望みます。
- 日本人は特に、変化を嫌い極端に不安になる傾向があるが、未来の利便性の為に、是非、ご尽力していただきたいです。
- 良い点もあると思いますが、年齢を重ねるとスマホの取り扱いが良く理解しづらく、操作の仕方が大変です。
- デジタル化は世の流れであるので、いたしかたないが、取り残される人がでるだけではない様にしてほしい。
- デジタル化の推進は時代の流れで仕方ないと思います。デジタルに対応できない高齢者を置き去りにしないでください。
- デジタル化を進めるにあたり、万人がその恩恵を被ることができるようデジタル機器に不慣れな方（特に高齢の方）へのサポート体制を厚くすることが不可欠だと考えます。
- 書類発行の料金をキャッシュレス決済で払いたい。

宮代町のデジタル化に対するご意見としては、デジタル化や行政のDX化に期待が寄せられる一方、少子高齢化が進む中で、スマートフォンやタブレット、パソコン等のデジタル機器の操作に不安がある高齢者からの声も多く寄せられました。

第2章 DX推進に向けて

1 計画の位置づけ

本計画は、第5次宮代町総合計画を上位計画とし、計画で掲げる町の理想像である「首都圏でいちばん人が輝く町」の実現に向けて、デジタルの分野から取り組むための計画と位置づけます。策定にあたり、国の「自治体DX推進計画」及び県の「埼玉県DX推進計画」を踏まえ、国及び県の施策と整合性を図りながら計画を進めていきます。



2 計画策定期間

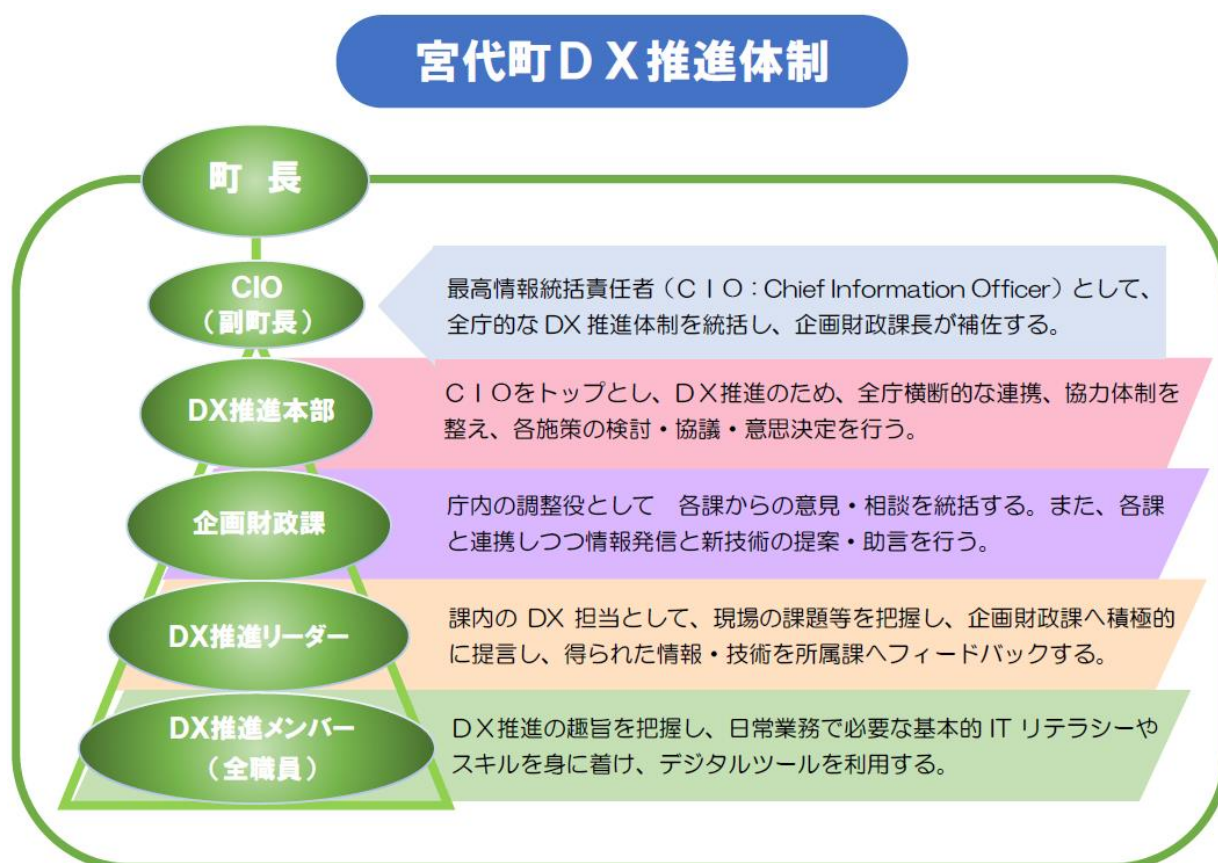
本計画の期間は、令和5年度(2023年度)から令和9年度(2027年度)までの5年間とします。なお、デジタルを取り巻く環境の変化や技術の進化、国及び県の動向等を踏まえ、柔軟に対応させていくため、必要に応じて計画の見直し、更新を行います。

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
国の計画		自治体DX推進計画						
県の計画		埼玉県DX推進計画						
町の計画				宮代町DX推進計画				
総合計画		第5次宮代町総合計画 ※令和12年度まで						

3 計画の推進体制

副町長をC I O（最高情報統括責任者）とし、全課室局長で構成する宮代町自治体DX推進本部を設置し、本計画の推進を図ります。また、推進にあたっては、企画財政課が進行管理を行い、各部署にDX推進リーダーを配置し、デジタル化に対する現場の課題整理や情報の共有等を行います。

なお、計画の推進や見直しにあたっては、進化がめまぐるしいデジタル技術や新たな情報セキュリティに関する知見を有する外部専門家からの助言や提言を活用し、PDCAサイクルを基本としつつ、OODAループの手法を用いて本計画の実行性を高めていきます。



宮代町が目指す姿（ビジョン）

第5次宮代町総合計画の未来像として掲げる「首都圏でいちばん人が輝く町」の実現に向けて、デジタル分野から推進を図るにあたり、宮代町が目指す姿（ビジョン）を次のように定めます。

デジタルでみんなの暮らしを豊かに

デジタルで広がる
住民サービス

職員のスマートな
ワークスタイルの実現

行政に関わる様々な分野においてデジタル技術を活用することで、時代やニーズに応じた住民サービスの向上を図ると共に、限られた職員数で持続可能な行政運営を行うため、デジタル技術を活用してスマートなワークスタイルの実現に取り組みます。また、サービスの提供にあたっては、町民にデジタル格差を作らないよう配慮し、「デジタルでみんなの暮らしを豊かに」する改革に取り組んでいきます。

施策の構成にあたっては、国の自治体DX推進計画に定める6つの重点事項に、行政の効率化に不可欠な取り組み2項目を加え、8つの項目ごとに推進方針を定めています。

1 自治体の情報システムの標準化・共通化

● 現状と課題

情報システムは自治体ごとに構築しているため、システムの入替えや更新の際の人的、費用的な負担が大きくなっています。国は、行政の効率化を更に進めるため、住民基本台帳等の情報を扱う基幹系システムについて、令和7年度末までに国が示す標準化のための基準（標準仕様）に適合させることとしています。

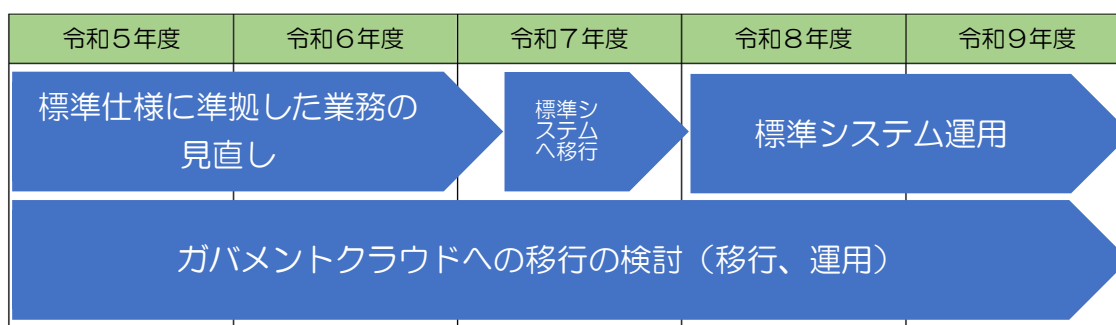


● 目指す将来像や期待される効果

標準仕様に準拠したシステムを導入することで、自治体間のデータ連携がスムーズになり、行政手続きの簡素化や迅速化が図られ、住民サービスの向上につながります。また、コストの削減も期待でき、ガバメントクラウド（国や地方公共団体が共同利用するIT基盤）の活用により、システムの安定稼働や災害時の業務継続性の確保を図ります。

● 今後の主な取り組み内容

- ・ 標準仕様に準拠した業務の見直し
- ・ ガバメントクラウドへの移行の検討
- ・ 令和7年度を目標とした標準システムへの移行



2 マイナンバーカードの普及促進

● 現状と課題

国は、マイナンバーカードを、オンラインで確実に本人確認ができ、デジタル社会の基盤になるものと位置づけ、早期普及を目指しています。宮代町における令和5年10月末時点のマイナンバーカード交付枚数は26,631枚、申請率が79.5%となっています。健康保険証の一体化や公金受取口座の登録も進んでおり、カードを利活用する環境整備を進めるとともに安全性を確保し、普及促進を図る必要があります。

● 目指す将来像や期待される効果

現在、マイナンバーカードは、本人確認書類としての利用はもとより、健康保険証としての利用やオンラインでの確定申告、各種証明書のコンビニ交付、引っ越しワンストップサービス等様々な場面で利活用がなされています。引き続き、マイナンバーカードの安全性を正しく広報するとともに、マイナンバーカードを利用した行政手続きのオンライン化をさらに進め、住民サービスの向上と業務の効率化を図ります。

● 今後の主な取り組み内容

- 取得率100%に向けた普及促進の取り組み
- マイナンバーカードを利用した行政手続きの拡充
- コンビニ交付証明書の拡充



令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
マイナンバーカード普及促進の取り組み				
コンビニ交付証明書の拡充 マイナンバーカードを利用した行政手続きの拡充				

3 自治体の行政手続きのオンライン化

● 現状と課題

宮代町では埼玉県市町村電子申請・届出サービスを活用し、住民票の写しの休日交付や水道の開閉栓手続き等の行政手続き、各種アンケート等をオンラインで実施してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大による暮らしの変化に合わせて、多様なワークスタイルやライフスタイルが浸透したことで、これまで以上に安心して利便性の高い行政手続きのオンライン化やデジタル化を推進する必要があります。

● 目指す将来像や期待される効果

国の施策と連動した行政手続きのオンライン化を進め、スマートフォンやタブレット等を活用し、時間や場所を選ばずに公共施設に来ることなく手続きを行える環境を整備します。利用者の多様なワークスタイルやライフスタイルに対応した利便性の高い行政サービスを提供できるよう推進していきます。

● 今後の主な取り組み内容

- ・ 電子申請に対応した業務の拡充
- ・ 行政手続きオンライン化の更なる充実
- ・ 公共施設のオンライン予約サービスの開始
- ・ キャッシュレス決済の導入
- ・ オンライン手続きの利用率向上に向けた情報発信



令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
電子申請に対応した業務の拡充、行政手続きオンライン化の充実 オンライン手続きの利用率向上に向けた情報発信				
公共施設オンライン予約開始	キャッシュレス決済の導入			

4 自治体のデジタル技術（AI・RPA等）の利用促進

● 現状と課題

デジタル技術は日々進化していて、AI（人工知能）やRPA（ソフトウェアロボット技術）を活用することで、定型的な日常業務の自動化が可能になってきています。このような新技術を活用することで、本格的な人口減少社会となる令和22年頃を見据え、働き方の改革、業務そのもののあり方を見直すことが必要です。そのために、町に必要なデジタル技術を選別して、取り入れていく必要があります。

● 目指す将来像や期待される効果

業務におけるデジタル技術の活用について調査検討を行い、導入効果が見込める業務については積極的に活用を進めます。特にデータ集計やシステム入力等定型作業の自動化を進め、事務の省力化や効率化、正確性の向上を図ります。

業務効率化により生み出される時間や資源を、多様化する新たな行政需要や職員の働き方改革に振り分けられるよう取り組みを進めます。

● 今後の主な取り組み内容

- ・ 先行事例の研究
- ・ 宮代町への導入検討

（検討される取り組みの一例）AI-OCR、RPA、無線通信（Wi-Fi）、音声認識技術（文字起こし）等



令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
先行事例の研究、宮代町への導入検討				

5 テレワークの推進

● 現状と課題

新型コロナウイルス感染症を機に、様々なワークスタイルが広まり、地方公共団体においても働き方改革の一環として、テレワークを可能とする自治体が増加しています。宮代町でもコロナ禍の分散勤務において試験的に採用しており、今後ルール整備を行ったうえで、多様な働き方の実現や業務継続性の確保に向けて、テレワークを推進する必要があります。



● 目指す将来像や期待される効果

介護や育児中の職員が自宅に居ながら会議に参加できる、病気やけが等で登庁が困難な職員が、状況に応じて柔軟に業務にあたることできる等、テレワークやウェブ会議を組み合わせることで多様な働き方の実現を目指します。ワークライフバランスの促進を図るとともに、新型コロナウイルス感染症のような有事の際にも、テレワークを利用することで、感染を防止しながら行政機能を維持する体制づくりに努めます。

● 今後の主な取り組み内容

- ・ 国や他自治体における先行事例の研究
- ・ テレワーク本格導入に向けた環境等整備
- ・ 人事制度面での課題等の整理



令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
先行事例の研究 導入に向けた環境、課題等の整理				

6 セキュリティ対策の徹底

● 現状と課題

ICTの急速な進化に伴い、不正アクセスやコンピュータウイルスも多種多様化し、情報漏えいの危険性は常に存在しています。行政手続きにおいても、行政手続きのオンライン化、職員のテレワーク開始、各システムのクラウド化等新たな技術に対応した対策を講じる必要が生じています。

また、技術的な対策だけではなく、職員による情報漏えいのリスクもあることから、職員一人一人のセキュリティ意識の向上を図る必要があります。



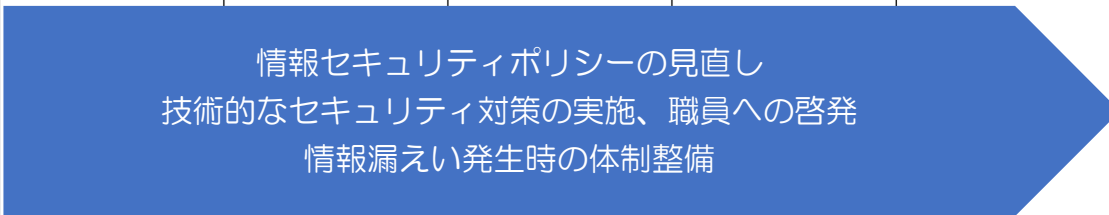
● 目指す将来像や期待される効果

行政手続きのオンライン化やテレワーク、クラウドシステム等、新しい技術に対する新たな脅威に対して高いセキュリティを確保する必要があります。セキュリティポリシーの継続的な見直しや職員へのセキュリティ研修等、デジタル化の進化に合わせた適切な対策を行います。また、職員のセキュリティリテラシーの向上を図り、対策を徹底することで、町が保有する情報資産を守ります。

● 今後の主な取り組み内容

- ・ 情報セキュリティポリシーの見直し
- ・ ウイルス対策やフィルタリング等技術的な対策の実施
- ・ 職員に対するセキュリティリテラシーの啓発
- ・ 情報漏えい発生時の体制整備



令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
 <p>情報セキュリティポリシーの見直し 技術的なセキュリティ対策の実施、職員への啓発 情報漏えい発生時の体制整備</p>				

7 地域社会のデジタル化

● 現状と課題

スマートフォンやタブレット、パソコン等デジタル機器の普及が進んだことに伴い、キャッシュレス決済やオンライン申請等の利用が広がっており、今後もサービスのデジタル化は加速します。

一方で、スマートフォンやタブレットの使用スキルには個人差があり、一番恩恵を受けるべき高齢者世代で地域のデジタル化に対応できない（デジタルデバイド）可能性があります。

● 目指す将来像や期待される効果

スマートフォンやパソコンの操作に不慣れな住民が、ICTを気軽に学べる機会や相談ができる場所を増やし、より多くの住民がデジタル化の恩恵を受けられる環境を整備します。また、オープンデータの推進、官民データ活用の推進を進め「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現に向けた環境づくりを進めます。



● 今後の主な取り組み内容

- ・大学や民間企業と連携したICT相談会の実施
- ・公共Wi-Fi、閲覧用端末の設置
- ・オープンデータの活用
- ・SNSやスマートフォンアプリを活用した情報発信
- ・デジタル人材の育成

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ICT相談会の実施、オープンデータの活用、SNSやスマートフォンアプリを活用した情報発信				
	デジタル人材の育成			
		公共Wi-Fi、閲覧用端末の設置		

8 スマートなワークスタイルの実現

● 現状と課題

人口減少、高齢化の進展により、宮代町においても人材不足が深刻化することが予想されます。また、社会保障費の増大等により、引き続き厳しい財政状況が続くことが見込まれます。限られた職員数でより良い住民サービスを提供していくためには、ICTを活用して業務の効率化を図るとともに、職員がこれまで以上に働きやすい環境整備を行い、スマート自治体への転換を図る必要があります。



● 目指す将来像や期待される効果

庁内ネットワークの無線化を行い、職員が庁舎内のどこにいても安全に素早く情報を引き出せる、ウェブ会議に参加できる環境を整備します。また、ペーパーレスを推進し、事務の省力化や省資源化を図るとともに、文書キャビネットを削減し、業務スペースの拡大につなげます。職員が働きやすくなることで、多様な行政需要にもこれまで以上に柔軟に対応できる、スマートなワークスタイルの実現を図ります。

● 今後の主な取り組み内容

- 電子決裁の導入
- 庁舎内ネットワークの無線化
- ペーパーレスへの取り組み
- オンライン会議等環境整備



令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ペーパーレスへの取り組み、オンライン会議等環境整備				
電子決裁の導入	庁舎内ネットワークの無線化			

用語集

AI

Artificial Intelligence の略。人工的に作られた知能を持つコンピュータやソフトウェアのこと。人間のように過去の事例から学習・分析し、従来人間にしかできなかったような作業や判断を行うことができる。

CIO

Chief Information Officer の略。最高情報統括責任者のこと。情報技術に関する戦略のトップとして統括する役員や責任者のこと。

DX

Digital Transformation の略。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

ICT

Information and Communication Technology の略。情報や通信に関する技術の総称のこと。日本では同様の言葉としてIT（Information Technology：情報技術）のほうが普及しているが、国際的にはICTがよく用いられる。

OODAループ

「Observe（観察、情報収集）」、「Orient（状況、方向性判断）」、「Decide（意思決定）」、「Act（行動、実行）」の頭文字をつないだ言葉で、意思決定プロセスを理論化したもの。PDCAと異なり計画を立てるステップがないため、スピーディーな意思決定を行う事が可能。

PDCAサイクル

「Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）」という一連のプロセスを繰り返し行うことで、業務の改善や効率化を図る手法の一つ。

RPA

Robotic Process Automation の略。これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化すること。

SNS

Social Networking Service の略。様々な交流を図ることができるオンラインサービスのこと。

Wi-Fi

Wireless Fidelity の略。ケーブルを使わず無線通信（ワイヤレス）でデータをやり取りする仕組みの一つ。

オープンデータ

国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、営利利用も含めた二次利用可能な利用ルールで公開されたデータのこと。

ガバメントクラウド

政府が提供する、共通的な基盤・機能を提供する複数のクラウドサービスの利用環境のこと。

基幹系システム

国民生活に直接関係する事務に係る情報システムであって、相互に連携が必要なシステムのこと。

キャッシュレス決済

現金を使わずに支払いを済ませる方法のこと。

クラウド

アプリケーションやストレージ、サーバ等をインターネットを介して利用する仕組みのこと。

セキュリティポリシー

組織において実施するセキュリティ対策の方針や行動指針のこと。

デジタルデバイド

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる方と利用できない方との間に生じる様々な格差のこと。

テレワーク

勤労形態の一つで、ICTを活用し、時間や場所の制約を受けない柔軟な働き方のこと。

電子決裁

紙の申請書等を使用せず、パソコン上で決裁処理を行うこと。

ペーパーレス

紙をなくすこと。紙の資料等を電子媒体に切り替え、生産性向上を図る取り組み。

マイナンバーカード

個人番号を証明する書類や本人確認の際の公的な本人確認書類として利用でき、様々な行政サービスを受けることができるようになるICカードのこと。

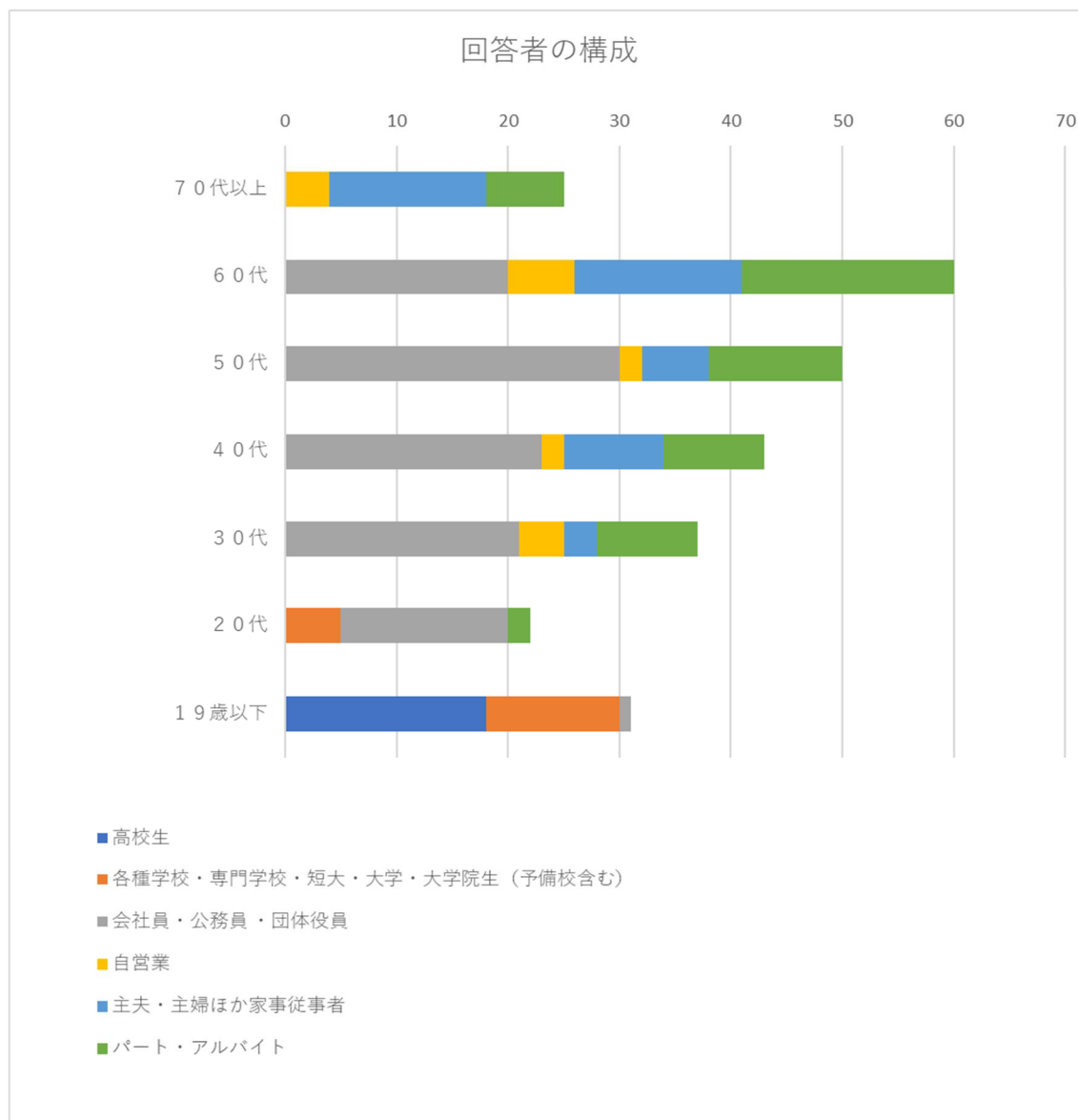
リテラシー

適切に理解し、利用、活用することができる能力のこと。

町民アンケート集計結果

1 あなた自身のことについて（回答者構成）

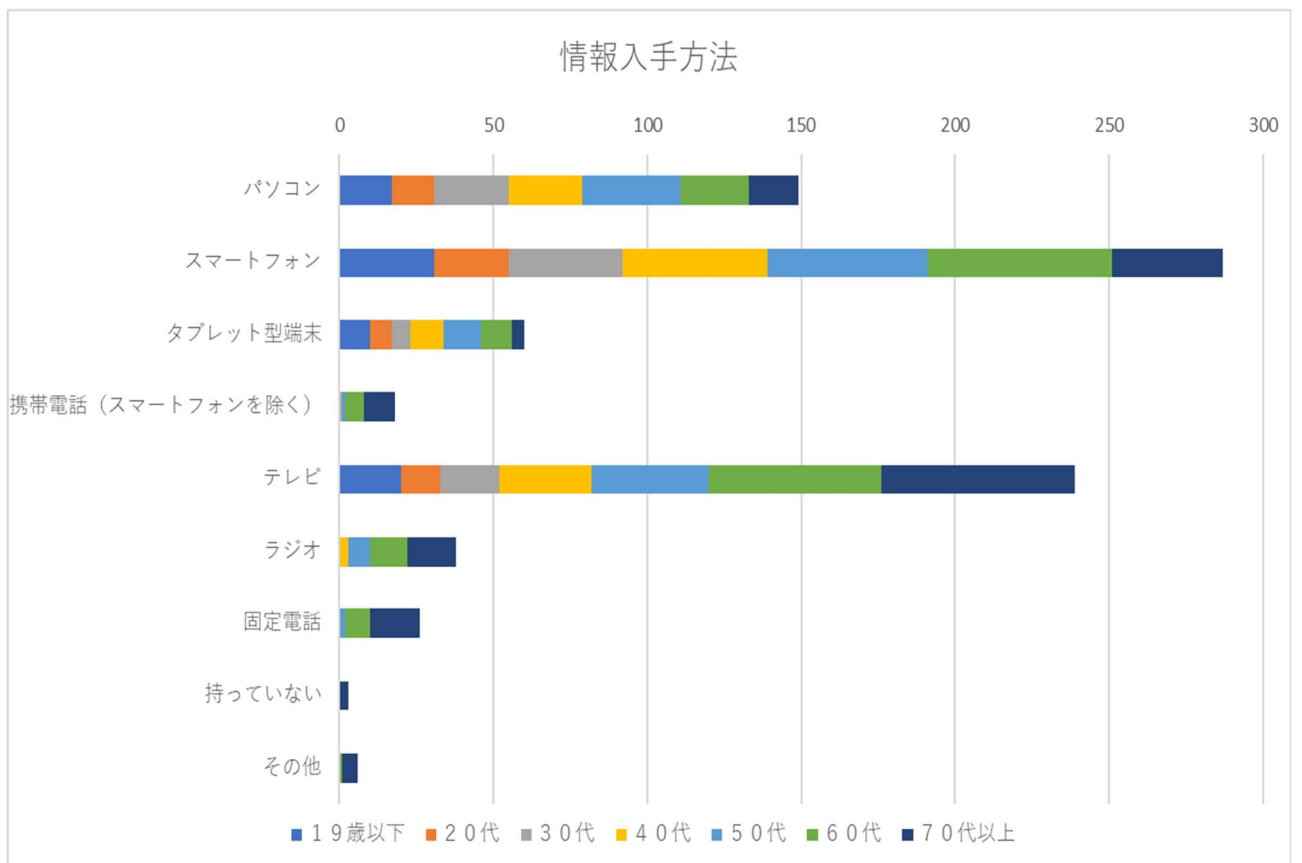
年代	高校生	各種学校・専門学校・短大・大学・大学院生（予備校含む）	会社員・公務員・団体役員	自営業	主夫・主婦ほか家事従事者	パート・アルバイト	無職	その他	未回答
19歳以下	18	12	1	0	0	0	0	0	0
20代	0	5	15	0	0	2	2	0	0
30代	0	0	21	4	3	9	0	1	0
40代	0	0	23	2	9	9	2	2	0
50代	0	0	30	2	6	12	2	0	0
60代	0	0	20	6	15	19	10	0	1
70代以上	0	0	0	4	14	7	40	3	0
合計	18	17	110	18	47	58	56	6	1



2 情報通信機器の利用状況について

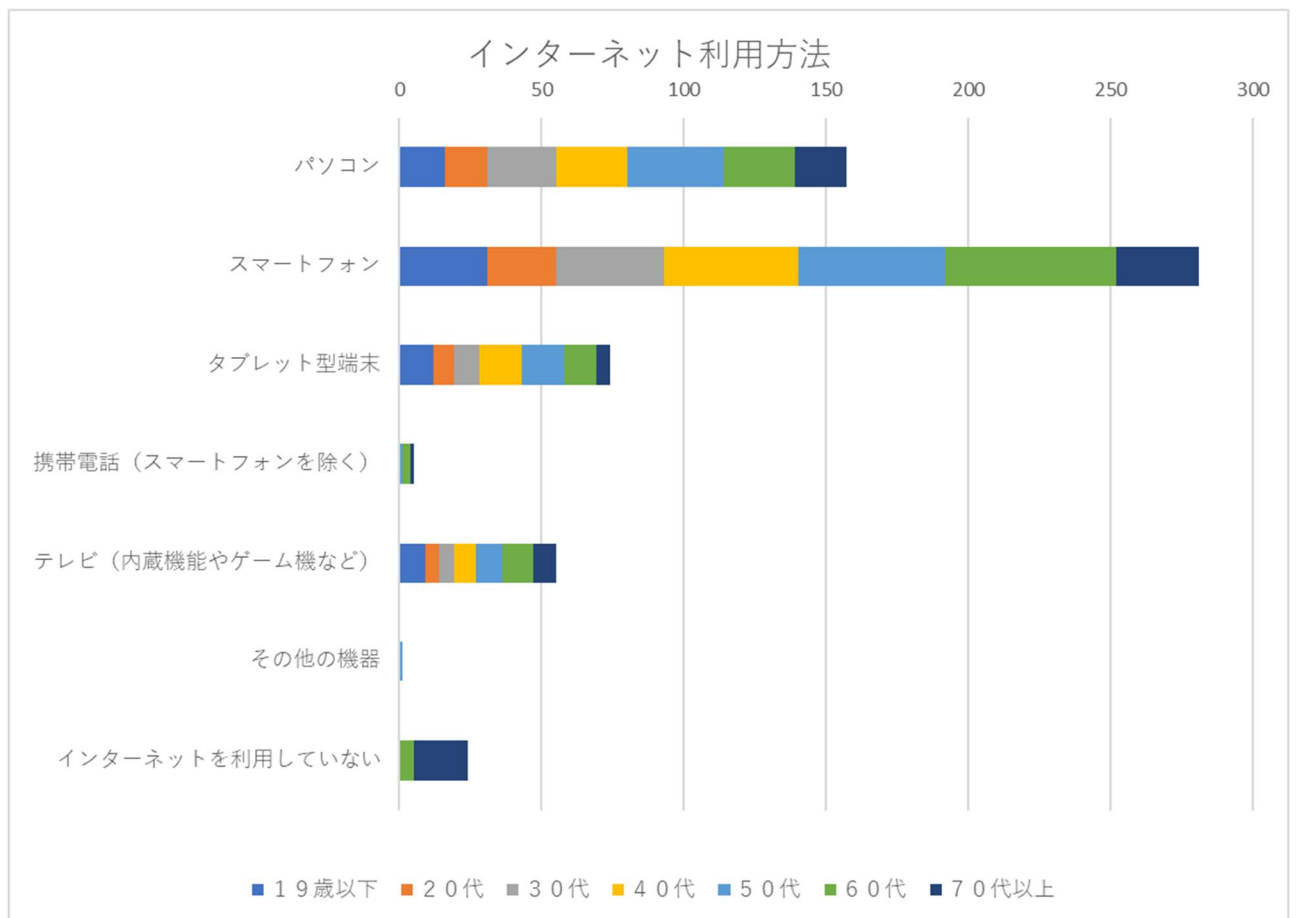
(1) あなたが情報を入手するためによく利用する機器を教えてください(3つまで)。

年代	パソコン	スマートフォン	タブレット型端末	携帯電話(スマートフォンを除く)	テレビ	ラジオ	固定電話	持っていない	その他	合計
19歳以下	17	31	10	0	20	0	0	0	0	78
20代	14	24	7	0	13	0	0	0	0	58
30代	24	37	6	1	19	0	0	0	0	87
40代	24	47	11	0	30	3	0	0	0	115
50代	32	52	12	1	38	7	2	0	0	144
60代	22	60	10	6	56	12	8	0	1	175
70代以上	16	36	4	10	63	16	16	3	5	169
合計	149	287	60	18	239	38	26	3	6	826



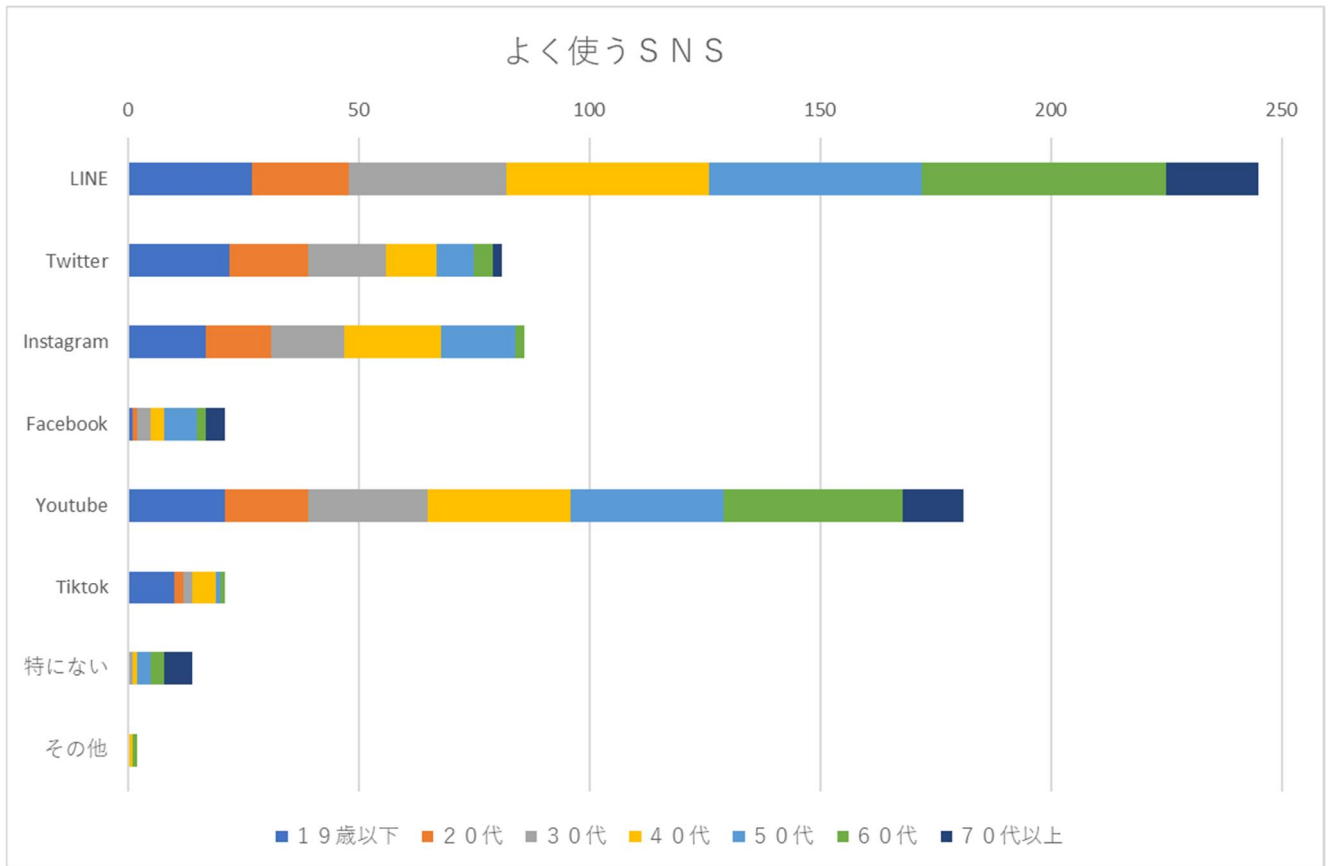
(2) インターネットを主に利用している機器を教えてください(複数回答可)。

年代	パソコン	スマートフォン	タブレット型端末	携帯電話(スマートフォンを除く)	テレビ(内蔵機能やゲーム機など)	その他の機器	インターネットを利用していない	合計
19歳以下	16	31	12	0	9	0	0	68
20代	15	24	7	0	5	0	0	51
30代	24	38	9	0	5	0	0	76
40代	25	47	15	0	8	0	0	95
50代	34	52	15	1	9	1	0	112
60代	25	60	11	3	11	0	5	115
70代以上	18	29	5	1	8	0	19	80
合計	157	281	74	5	55	1	24	597



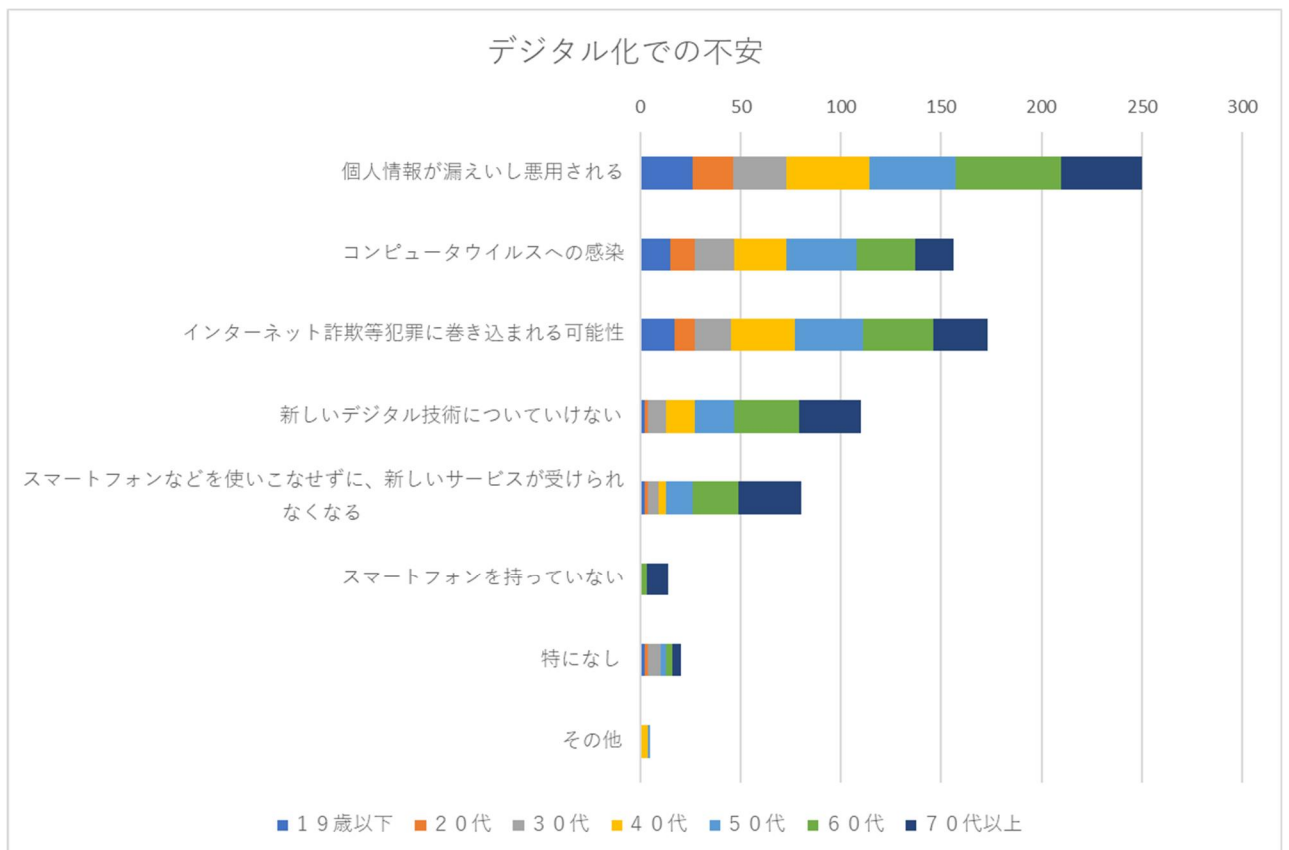
(3) よく利用されているSNSを教えてください(3つまで)。

年代	LINE	Twitter	Instagram	Facebook	Youtube	Tiktok	特にない	その他	合計
19歳以下	27	22	17	1	21	10	0	0	98
20代	21	17	14	1	18	2	0	0	73
30代	34	17	16	3	26	2	1	0	99
40代	44	11	21	3	31	5	1	1	117
50代	46	8	16	7	33	1	3	0	114
60代	53	4	2	2	39	1	3	1	105
70代以上	20	2	0	4	13	0	6	0	45
合計	245	81	86	21	181	21	14	2	651



(4) 社会のデジタル化が進む中で不安に思うことはありますか（複数回答可）。

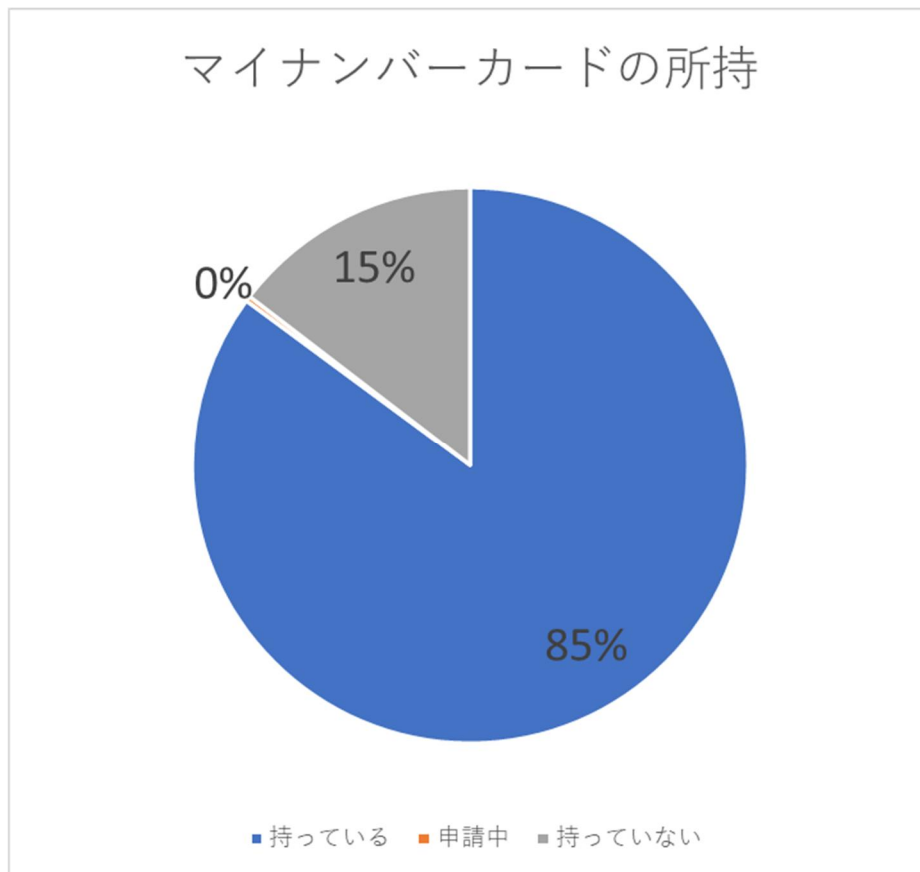
年代	個人情報が漏えいし悪用される	コンピュータウイルスへの感染	インターネット詐欺等犯罪に巻き込まれる可能性	新しいデジタル技術についていけない	スマートフォンなどを使いこなせずに、新しいサービスが受けられなくなる	スマートフォンを持っていない	特になし	その他	合計
19歳以下	26	15	17	2	2	0	2	0	64
20代	20	12	10	2	2	0	2	0	48
30代	27	20	18	9	5	0	6	0	85
40代	41	26	32	14	4	0	0	4	121
50代	43	35	34	20	13	0	3	1	149
60代	53	29	35	32	23	3	3	0	178
70代以上	40	19	27	31	31	11	4	0	163
合計	250	156	173	110	80	14	20	5	808



3 マイナンバーカードの取得状況について

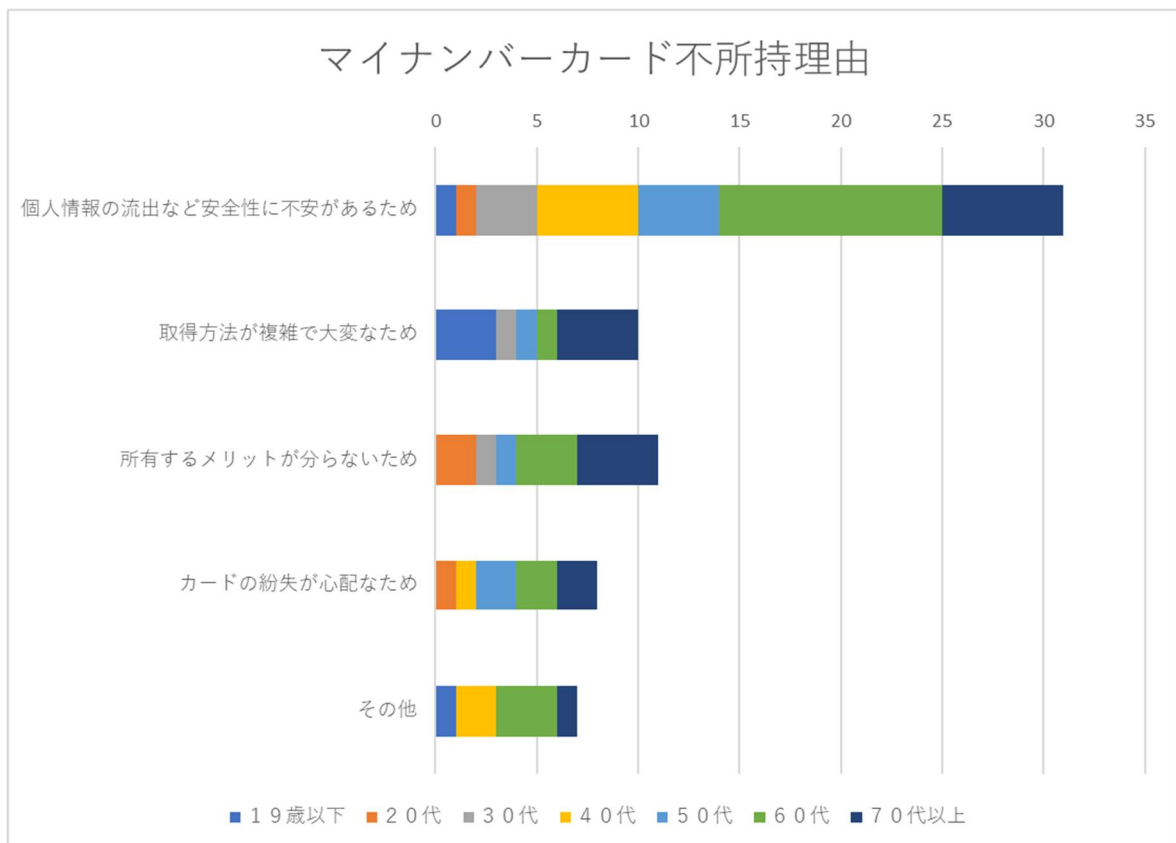
(1) マイナンバーカードを持っていますか。

年代	持っている	申請中	持っていない	合計
19歳以下	25	1	5	31
20代	20	0	4	24
30代	33	0	5	38
40代	40	0	7	47
50代	47	0	5	52
60代	58	0	13	71
70代以上	57	0	9	66
合計	280	1	48	329



(2) (「持っていない」と答えた方のみ) マイナンバーカードを持っていない理由を教えてください。

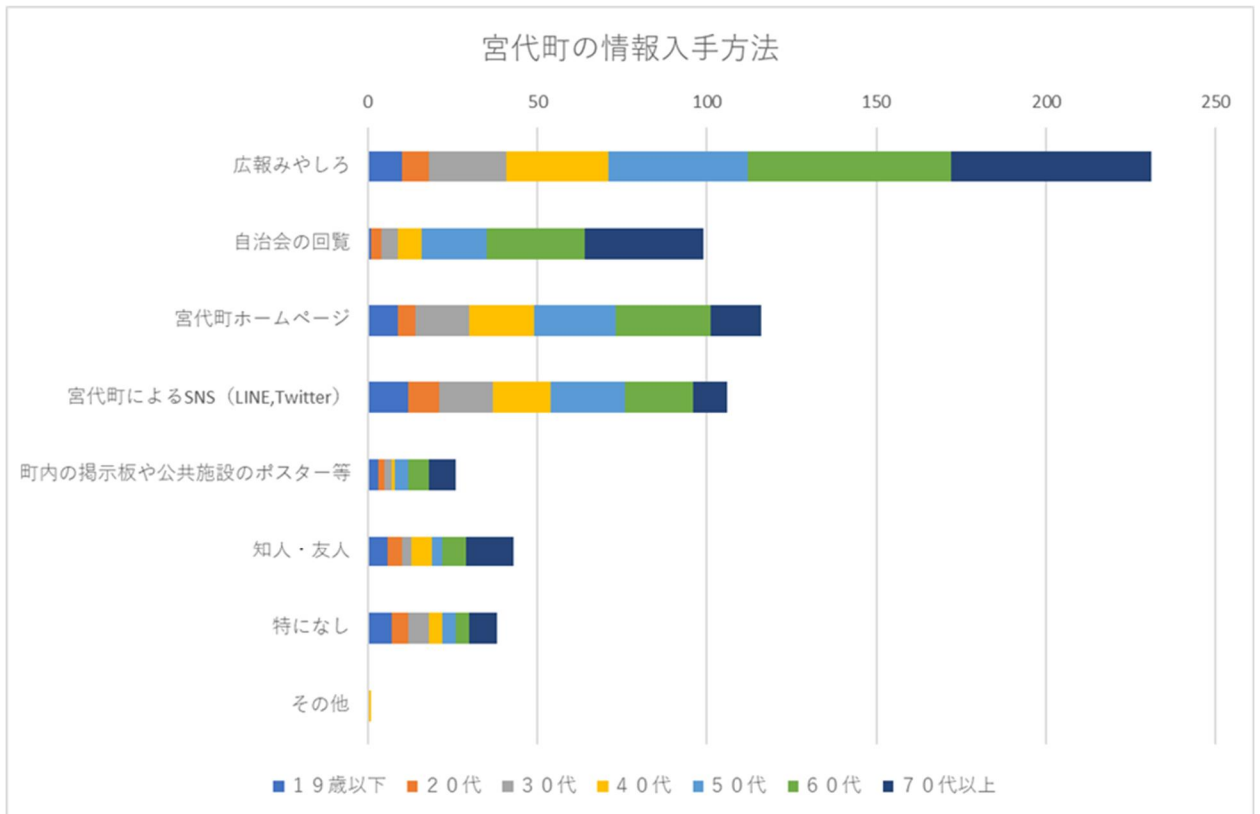
年代	個人情報の流出など安全性に不安があるため	取得方法が複雑で大変なため	所有するメリットが分らないため	カードの紛失が心配なため	その他	合計
19歳以下	1	3	0	0	1	5
20代	1	0	2	1	0	4
30代	3	1	1	0	0	5
40代	5	0	0	1	2	8
50代	4	1	1	2	0	8
60代	11	1	3	2	3	20
70代以上	6	4	4	2	1	17
合計	31	10	11	8	7	67



4 宮代町のデジタル化等について

(1) 宮代町の行政情報の入手方法を教えてください(複数回答可)。

年代	広報みやしろ	自治会の回覧	宮代町ホームページ	宮代町によるSNS (LINE, Twitter)	町内の掲示板や公共施設のポスター等	知人・友人	特になし	その他	合計
19歳以下	10	1	9	12	3	6	7	0	48
20代	8	3	5	9	2	4	5	0	36
30代	23	5	16	16	2	3	6	0	71
40代	30	7	19	17	1	6	4	1	85
50代	41	19	24	22	4	3	4	0	117
60代	60	29	28	20	6	7	4	0	154
70代以上	59	35	15	10	8	14	8	0	149
合計	231	99	116	106	26	43	38	1	660



(2) 今後期待する、デジタル技術を活用した宮代町の行政サービスについて教えてください(3つまで)。

年代	インターネットで自宅等から各種手続きができる	窓口での書類作成が、自筆せずにタブレット等ができる	各窓口を回らず一か所でまとめて手続きができる	名前等の情報は一度書けば後の書類は書かなくてよくなる	ほしい情報、重要なお知らせ等が自動的にスマホ等に送られてくる	インターネットを利用して子育て、福祉、介護等の相談ができる	キャッシュレス決済(現金以外の方法での支払い)が可能になる	24時間いつでもAIが問い合わせに回答してくれる	スマートフォン等の機器に不慣れた住民へのサポートが充実している	その他	合計
19歳以下	18	6	12	6	8	5	6	3	6	0	70
20代	19	6	13	6	4	3	8	2	0	0	61
30代	32	9	15	8	8	4	16	5	2	1	100
40代	38	12	16	13	10	4	14	5	5	2	119
50代	38	12	27	11	14	6	8	6	7	3	132
60代	38	14	40	16	19	10	8	5	22	2	174
70代以上	9	7	30	19	13	6	4	5	18	5	116
合計	192	66	153	79	76	38	64	31	60	13	772

